

教科書 p96～99「22 産業革命と一体化する世界」

工業化と産業革命

18世紀以降、大規模に商品せいまいこうを製造する技術だいきぼと仕組みしょうひんが考案せいぞうされ、機械ぎじゆつと工場しくみにもとづく工業こうあんが生産活動きかいの中心こうじょうとなった。これを(1) こうぎょう かいし けいざい しゃかい という。工業化を開始して経済と社会が

大きく変化せいさんかつどうしたことを(2) ちゆうしん おおきくへんか とよぶ)とよぶ。

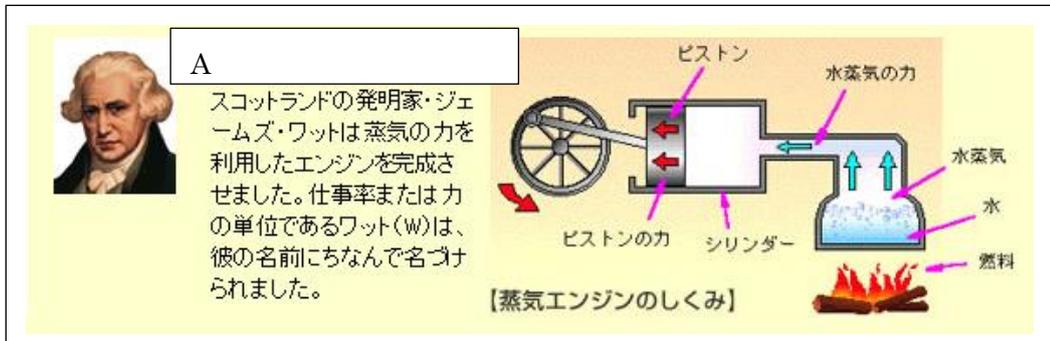
イギリスの産業革命

世界で最初せかいに産業革命さいしょを経験さんぎょうかくめいしたのは、18世紀末けいけんのイギリスせいきすえであった。

イギリスの産業革命いぎりすは、(3) さんぎょうかくめい いぎりす いんど ゆにゆう めんぶ)からはじまった。インドから輸入いんどされていた綿布ゆにゆうを、

イギリス国内いぎりすで量産化さんぎょうかくめいしようとした。まず紡績ほうせきと織布おりぬのの工程こうていに技術革新ぎじゆつかくしんが導入どうにゆうされ、綿織物めんおりものの

量産化りょうさんかが実現じつげんし、(4) どうりよくけん きかい どうにゆう)を動力源とする機械どうりよくけんが導入きかいされた。



交通革命

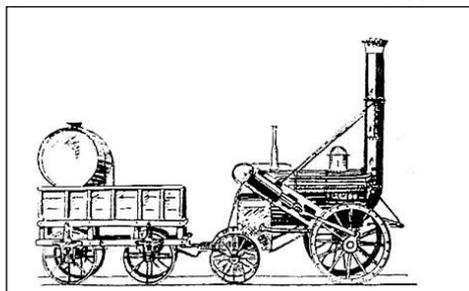
エネルギー源えねるぎーげんとして(5) さいよう てつ せいれんほう こーくすほう かいはつ)が採用され、鉄の精錬法にコークス法が開発されて、

(6) せいさん じょうしやう)生産が上昇した。

輸送する手段ゆそうとして蒸気機関しゆだんを利用した(7) じょうききかん りやう かいはつ)が開発された。

1825年 ねん すていぶんそん じょうききかんしや じつようか すとつくとんーだーりんとんかん) スティブンソン、蒸気機関車を実用化 すとつくとんーだーりんとんかん ストックトン-ダーリントン間(17km)

[B] かいはつ)が製作
ロコモーション号



資本主義社会の到来

工業化と産業革命を経験した国々では、工場こうじょうで働くはたらく(8) としせいかつしゃが都市生活者となり、

長時間ちやうじかんの労働ろうどうをするようになった。労働者ろうどうしゃたちは、低賃金ていちんぎんで働き失業はたらきつぎようの不安ふあんをかかえたため、生活せいかつ

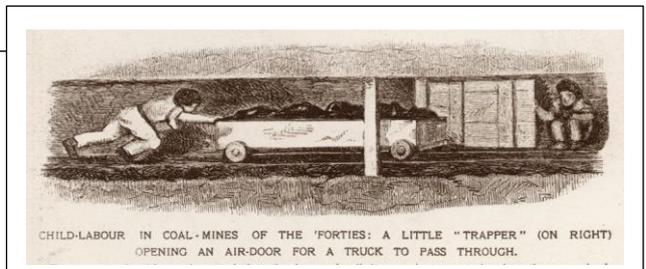
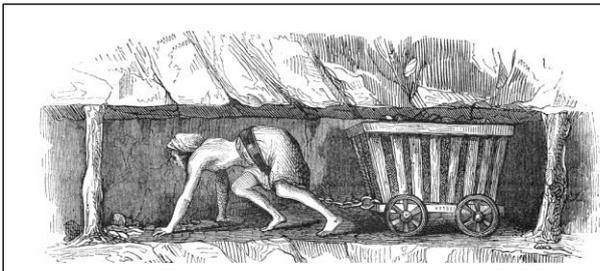
改善かいぜんや政治的発言せいじてきはつげんの機会きかいを求めて、(9) てんかいを展開した。

工業化こうじょうかは、利潤りじゆんを追求ついきゆうする(10) けいざいかつどうが経済活動しはいを支配しして、労働者ろうどうしゃは賃金ちんぎんと

引きかえひきかえに労働ろうどうを提供ていきようするという、(11) うみだしたを生み出した。

こうした資本主義しほんしゆぎがかかえる不平等ふびやうどうを批判ひはんし、平等びやうどうな社会しゃかいをつくらうとする(12))

の思想しそうも生まれた。うま



考えてみよう/子供や女性が炭坑内で働いていたのは、なぜか? 体の大きさ

パクス=ブリタニカの時代

世界最初せかいさいしよの産業革命さんぎやうかくめいを達成たっせいしたイギリスいぎりすは、19世紀せいきなかばには、他国たこくに大きな差おおきなさをつけた工業こうぎやう

生産力せいさんりよくをもち、(13))とよばれた。

イギリスいぎりすの圧倒的あつとうてきな経済力けいざいりよくのもとに、世界せかいが一体化いったいかした。このような世界秩序せかいちつじよは、大英帝国だいえいていこくのもので

の平和へいわ=(14))とよばれた。